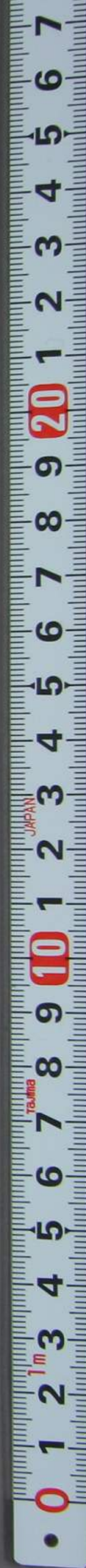




新ニ發布セラレタル軍隊教育令ノ特色

大正二年三月



114
A 4347

新ニ發布セラレタル軍隊教育令ノ特色

大正十一年三月

本郷中將談話筆記

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈



積年ノ經驗ト時運ノ推移トニ鑑ミ、今回新ニ軍隊教育令ヲ發布セラレマシタニ就キマシテハ、軍職ニ在ル者ガ之ヲ研究シ玩味スルハ固ヨリデアリマスガ、此ノ軍隊教育令ニハ、特ニ我が邦軍隊教育ノ主義方針等ヲ明示セテ居リ、諸外國ノモノニ較ベテモ自ラ獨特ノ點ガアリマスノデ、此ノ機會ヲ利用シテ、帝國軍隊教育ノ根本主義新軍隊教育令ノ特色ヲ研究シマシテ、軍隊教育ト國民教育トノ關係ヲ明ニシ、又國ヲ舉ゲテ一朝事アルノ自ニ備ヘルト云フ様ナ基ヲ開キマスノハ、決シテ無益ノ業デハナカラウト信ズルノデ

アリマス。尚此ノ機會ニ一寸申シテ置キタイノハ、我が國ニ於
キマシテハ、軍隊ト一般國民トハ縁が遠イ様ニナフテ居リマス
ガ、此ノ事ハ、國家ノ爲誠ニ大イナル損失ト云フヲ妨ゲナイコトト
思ハルルノデアリマス。一寸見マスト、兵營ハ嚴然タル赤煉瓦ノ
圍壁デ市井ト隔絶サレテ居リマスシ、又兵隊ハ一般國民ト
異ツタ服装ヲシテ居リマシテ、何トナク此ノ兩者ノ間ニ懸ケ
隔テガアル様デアリマスガ、何モ、軍隊ハ社會ヲ離レタ別世
界デモナケレバ、秘密境デモナク、況シテ伏魔殿ダ等トハ思
モ寄ラヌコトデ、赤裸々ノ國民學校デアルノデアリマス。從ツ
テ、軍隊トシテハ、軍事ノ機密ニ亘ルコトハ格別トシマシテ、
其ノ外ノ事ハ何一ツ社會ニ向ツテ隱蔽スルト云フ様ナコトハ

ナク、公明正大所謂俯仰天地ニ愧ズト云フ風デナケレバナ
リマセンシ、又一般國民ハ努メテ軍隊ノ實狀ヲ研究シマシテ、
其ノ足ラナイ所ハ飽クマデ鞭撻ヲシ、又間違ワタコトガ萬一
アリマシタナラバ之ヲ匡正スルト云フ様ニシ、又美點ガアリマスナラ
之ヲ採ツテ他山ノ石トスルト云フ風ニ、兩方共ニ常ニ密接ノ關
係ヲ保ツテ、毫シデモ意志ノ疏通ヲ缺クト云フ様ナコトガアツ
テハナラヌ事ト確信スルノデアリマス。營門ニハ歩哨ガ嚴メ
シク立ツテ居リマスガ、之ハ何モ一般國民ノ軍隊研究ヲ沮ム
爲デハナク、嚴重ナ赤煉瓦ダトテ、何モ軍隊ノ内情ヲ世間
ニ向ツテ隱蔽スル爲ノ障壁デハ決シテナイノデアリマス。
以下新軍隊教育令ノ内容ニ就キテ
二十一年ノ意見ヲ述ベヨウ

ト思ヒマス。

一、我が邦特有ノ大和魂ヲ發揮スルコトヲ基礎ト

セラレタルコト

上ニ萬世不易ノ皇室ヲ戴キ、下臣民ガ世界獨特ノ大和魂ヲ有ツテ居ルト云フコトカ、我が國體ヲシテ世界ニ比類ナカラシムル所以デアリ、又國運ガ今日ノ様ニ發展シマシタ源由デアリカスト云フコトハ、三尺ノ童子モ尚能ク知ツテ居リカスコトデ、上皇室ノ事ハ姑ク措キマシテ、此ノ大和魂ト云フ無形ノ資質ガ如何ニ偉大ノ力ヲ有ツテ居リカスカハ、一卷ノ日本歴史ヲ手ニシマシタナラバ一見明瞭デアリマセウ。近ク曰清日露ノ役ニ稀有ノ大捷ヲ博シマシテ世界ノ耳目ヲ聳動シ

マシタノモ、一ニ我が國民ニ此ノ特有ノ精神ガアツタカラデアルコト云フコトハ、我モ人モ共ニ許ス所デアリマス。若シ我が國民カラ、此ノ特有ノ利器ヲ取り去リマシタナラバ如何デアリマセウカ。今日一等國知^識云ツテ世界ノ上班ニ位スルト云フ様ナコトハ夢ニモ出來ナカツタラウト思フデアリマス。此ノ無形ノ寶物デアル所ノ大和魂ガ、今日尚我々國民ノ頭ニ殆ンド先天的ニ宿ツテ居ルト云フコトハ、如何ニモ幸福ナ事デアリマス。併シナガラ、此ノ大和魂ナルモノハ、天カラ降ツタリ地カラ湧イタリスル様ニ、偶然ニ斯クアルノデアリマセンデ、實ニ我々ノ祖先ガ世々之ヲ磁ギ磨キ、彌カ上ニモ光ヲ増サウト心懸ケラレタオ蔭ト云ハネハナリマセン。謂ハバ、祖先ガ至誠ノ結果ヲ子孫ニ

貽シ傳ヘタ無上至寶ノ遺産デアリマス。此點ハ、吾々子孫
タル者ノ萬斛ノ熱誠ヲ以テ古人ニ感謝シナケレバナラヌ所
デアリカスト同時ニ、此ノ古來相傳ノ重寶ヲ大切ニ保存スル
許リデナク、一層磨キ立テテ益、其ノ光ヲ放タシメルト云フコ
トハ、祖先ノ遺澤ヲ祖述スベキ義務デ有リタス。吾々ノ當然
双肩ニ擔ハネバナラヌコトデアリマス。所ガ此頃ノ國民一般ノ
精神ヲ解剖シテ見マスナラバ果シテ如何デアリマセウカ。社會
ノ風潮ハ如何デアリマセウカ。人々ノ精神修養トカ、社會ノ德
義的制裁ト云ツタ様ナコトハ、古武士ノソレニ較ベテ決シテ劣
ルコトハナイデアリマセウカ。物質的ノ文明ハ駸々トシテ、實ニ
日進月歩ト云フ詞ノ通りデアルニ反シテ無形ノ方面ハ、逆ニ比

例ヲ取ル様ナコトハナイデアリマセウカ。三千年來光輝赫々ト
シテ一點ノ汚點ダニナキ歴史ヲ手ニシ、將タ又遺烈千萬年ノ後
迄モ芳ヲ放ツテ居リマス先哲ノ墓畔ニ詣テマシテ、萬人ガ萬人
迄面^{オモ}ハユクナイデアリマセウカ。斯ク思ヒ回ラシタナラバ、我々ハ
日頃先憂後樂ノ士ガ吁嗟嘆息シテ居リマスコトノ必ズシモ杞
憂ノミデナイコトヲ首肯セネバナラヌデアリマス。果シテ此
ノ先覺者ノ憂ガ事實デアリマスナラバ、邦家ノ爲ニ、ソモ此以
上ノ不詳事ハ他ニ有リマスコト。茲ハ一ツ、現代ノ國民特ニ前途
多望ノ青年ノ大ニ發奮興起ヲ要スル所ト考フル次第デアリマス。
若シ年月ノ流ト共ニ、今後萬一大和魂ガ磨消スル様ナコトデモ
アルト云フマスト、誠ニ國家ノ爲由タシキ一大事デ、現ニ白露戰後

我邦ノ赫々タル戦勝ノ原因ヲ探究スル爲日本ニ渡來シテ來マ
シタ多クノ各國ノ人達モ、日本が勝ツタノハ、主トシテ國民ニ種
言フニ言ハレヌ無形ノ武器ヲ持ツテ居ルカラダガ、此ノ武器ハ
日ト共ニ衰耗ニ傾キツワアルト云フ様ナコトヲ、皆言ツテ居ル
ノデアリマスカラ、此等モ他山ノ石トシテ我が魂ヲ研ク助ケトス
ベク、決シテ油斷ハナラヌノデアリマス。況シテ軍人ハ、國民
ヲ代表シテ直接戦ニ臨ミ敵ニ當ルノ職ニ居ルノデアリマスカラ、
特ニ平素カラ此ノ點ニ留意シテ決シテ怠ツテハナラヌノデア
リマス。若シモ我軍隊教育ニ於テ、假ニ此點ノ著意カ薄カ
ツタトシマシタナラ如何デアリマセウ。射撃が如何ニ上手デ
モ、劍術が如何ニ達者デモ、コンナコトハ對手モ亦十分ニヤツテ居ル

コトデアリ、其上何レノ國ヲ對手ジテモ、衆ヲ以テ寡ヲ制スルト
云フ様ナコトハ我が邦デハ出來ナイ相談デアリマスカラ、先ヅく
勝算ハナカラウト思ハレルノデアリマス。此事ハ獨リ武カノ戦
争ノ上バカリデナク、商戦、外交戦、其ノ他有ラユル戦争ノ上
ニ就テモ、同様ノ結果ニナルノデアリマス。ソコデ新軍隊教育
令デハ、我が邦軍隊教育ノ根本主義トシテ、此ノ大和魂ノ發揮
ト云フコトヲ捕ヘ、總テノ教育ハ、此ノ基礎ノ上ニ立タネバナラヌ
ト云フコトヲ徹頭徹尾要求サレテ居ルノデアリマス。諸テソレナラバ、
此ノ大和魂ノ本質ハドンナモノデアラウカ。之ハ誰シモ承知サ
レテ居ルコトデアリマスが、言葉ヲ換ヘテ申セバ武士道、軍人ノ
用語デ言ヒマスト軍人精神デアリマシテ、仁ニシテ俠血モ

アレバ涙モアリ、義ノ爲ニハ命ハ物カハ、恥ヲ知り名ヲ惜ミ、責
任ヲ存スル所ハ水火モ辭セズ、一朝事アレバ家ヲ棄テ身ヲ棄
テ、奮ツテ國難ニ赴キ、勇ミ悦ンデ大君ノ馬前マゼ斃レル、ト云フ
風ナ、一種言フベカラザル心的作用ヲ謂フノデアリマス。此ノ
仁俠所謂「オトコギト云フコトハ、（彼ノ俠客ト云フ様ナ者、
其ノ所業ハ必ズシモ一カラ十マデ模範トスルニ足ルト云フ譯デ
モアリマセンガ）全ク本邦ノ特産物デアリマス。又唯無暗ニ強
イト云フ許リデナク、鬼モ挫カウト云フ様ナ剛毅ノ間ニモ自
ラ言フニ言ハレヌ温情ガ流露スル、所謂血アリ涙アリト云ツ
夕様ナコトモ、我が古武士間ニ見ル美點デアリマセウ。頭ハ
叩カレテモ顔ニ唾ハカレテモ、利益サヘ得レハドウデモイト云ツタ

風ナ淺マシイ根情ヲ毛蟲ノ様ニ思ミ嫌フコトモ、邦人ノ他邦人
ニ一步ヲ越シテ居ルコトデアリ、又死ハ鴻毛ヨリ輕ク義ハ泰山ヨ
リモ重シト古言ニモ在ル如ク、一片ノ義理ノ爲ニハ何物ヲモ犠
牲ニシテ、少しモ恐レナイト云フ様ナ靈妙ナ心理ハ、本邦人ノ
特質デアリマス。特ニ、國難ニ方ツテ、純正無垢ノ忠義心
カラ何ヲ棄テテモ奮然起ツテ之ニ趨キ、大君ノ馬前マゼ死ヲ
馬革ニ裹ムノヲ人生唯一ノ榮譽トスルト云フ様ナコトハ、我
ガ國民精神中靈ノ靈ナルモノ粹ノ粹ナルモノト云フベキデ
アリマシキ、他國ニハ余リ類例ヲ見出スコトガ出来ナイノデ
アリマス。大和魂ノ説明ハマダくコンナコトデ盡キルモノ
デハナク、又夙クニ日本人ノ頭ニ誰シモ深く深く刻ミ付ケ

ラレテ居ル筈デアリマスカラ、此位デ措キマシテ、偕テ次ニ
ハ、然ラバ此ノ大和魂ハ、如何ニシテ砥ギ磨クカト云フ段ニナル
ノデアリマスガ、一般國民、修養法トカ練心術トカ云フコト
ハ、問題が大キクモアリ、又別ニ論議スル人モアル筈デアリ
マスカラ、茲ニハ軍隊教育ニ於テ如何ニシテ之カ涵養ヲ圖
ルカト云フコトノミヲ述ベテ、世ノ人ノ參考ニ供シタイト思
フノデアリマス。軍隊教育ニ於ケル大和魂養成法ニ就キマ
シテ、此ノ教育令デ教ヘラレテ居ル所ヲ大別シテ見マスト、
口ヲ以テ訓ヘルコト、身ヲ以テ率ヰルコト、及ビ外形上ノ訓
練カラ自然ニ心性ヲ修養サセルコト、先ヅ此ノ三段ニナツテ
居リマス。此ノ中デ、口デ諄々説キ諭スコトヤ、模範ヲ示

シテ風化誘導スルト云フ様ナコトハ、一般ニ行ハレテ居
ルコトデモアリ、別ニ之ト云フ程ノコトモアリマセンカラ
省キマシテ、第三ノ、形ノ上カラ精神ニ及ボサウト
云フコトニ就イテ少々述ベタイノデアリマス。誰モが承
知サレテ居リマス通り、軍隊デハ諸教練演習ガ極メ
テ嚴重デ、一擧一動モ忽ニシナイノデアリマス。同じ歩
ムニモ歩調ヲ揃ヘ、歩法ヲ同一ニシテ一絲不紊レヌ様ニ要求
シテ居リコスシ、夫ノ直立不動ノ姿勢デモ、眼ハ一點ヲ諦視
シ、足尖ハ六十度ノ角度ニ開キ、蜂ガ顔ヲ刺ソウガ彈ガ
飛ンデ來ヤウガ、手ヲ動カスコトモ許サレテ居ラナイノ
デアリマス。此等ノコトハ、何モ、人間ヲ盲滅法ニ鑄型

ノ中へ叩キ込シテ機械人形ノ様ナモノヲ作りサヘスレバソ
レデ良イト云フノデハ決シテナイノデアリマシテ、期スル所
ハ形ヲ正スト共ニ、自ラ精神ヲ匡正シヨウト云フノデア
リマス。即チ活氣アル歩調ニ依ツテハ、勇往邁進鐵
壁ヲモ突山崩サウト云フ氣勢ヲ養ヒ、直立不動、巖
ノヤウナ姿勢ハ、以テ確乎不拔ノ氣象ヲ養ヒ、風モ吹
ケ雨モ降レビクトモスルモノカト云ツヤウナ意氣ヲ内
ニ涵ヘサセヨウト云フノニアルノデアリマス。射撃手ヤ劍
術ノ演習デモ同様デ、只一途ニ技術ニ熟達サセサイス
レバソレデヨイト云フノデアナイノデアリマス。固ヨリ戰
場デ敵ヲ殪ス爲ニ、技ニ秀デサセルト云フコトモ必要デ

アリマスガ、一層深ク要求希望スルノハ之ニ依テ精神ヲ
鍛鍊サセヨウト云フノニアリマス。即チ、武技ニ十分熟達
サセルノハ、之ト同時ニ、自然ニ意志ヲ鞏固ニシ、自信力
ヲ増シ、士氣ヲ旺盛ナラシメヨウガタメデアリマス。以上
ノコトハ、實際敎育者ノ著眼次第敎へ方次第デ、決シ
テ出来ナイ相談デハナイノデアリマス。古ノ武士ガ、武術
ノ修業ヲ以テ唯一ノ修身養氣ノ要道デアルトシ、又演
武場ヲ道場ト名ヅケタノニ依リマシテモ明ラカデアリ
マセウ。軍隊デ、敎練ノ整正嚴格トカ、武技ノ習練ト
カ、其ノ他體力ノ養成トカ云フコトヲ一心ニヤルノハ、實ニ
形ノ上ノ成果ヲ收メルト共ニ、肝心ナ精神上ノ大ナル收穫ヲ

得ヨウト云フノニ外ナラヌノデアリマス。若シ此ノ理法ヲ
誤ツテ、諸般ノ演習教練ハ只戦士トシテ必要ナ技藝ヲ
叩キ込ミサヘスレバ良イノダト輕信スル様ナコトガアツタ
ナラバ、ソレコソ軍隊教育ノ精髓ヲ没却シタ^ルハデ、ソシテ
軍隊教育ハ何ノ役ニモ立タヌノデアリマス。假ニ形バカ
リ出来テ居ツテ魂ノ入ツテ居ラナイ軍人がアツタトシタラ
ドウデアリマセウカ。平生ノ試合デハ、成程技サ上手
ナラ或ハ勝ツカモ知レマセン。又彈ノ來ナイ所デハ立
派ニ操練^ヲモ出来觀兵式等モ見事ニ出来マセウシ、
死物ノ標的ニ向ツテ射サセラレタラ能クの中スルカモ知
レマセン。サレド、一旦實戰場裡ニ出タナラバ如何ニナル

デアリマセウカ。彈ハ雨ノ如ク又霰ノ如ク耳ノ邊リヲ
掠メテ、言フベカラザル氣味惡イ音ヲ立テ、見ル^ル戰友
ハバタリ^ク斃レル、邊リハ倏ケ屍山血河ト變ジ、阿鼻叫
喚ハ到ル所ニ起リ、血腥イ風ハアタリカマハズ吹キ回リ、危険
ノ光景ヤ悲惨ノ狀況が交々目サキニチラツクノデアリマ
スカラ、精神ノ出来テ居ラナイ悲シサニ、目ハ眩ミ、手ハ戦へ、
心ハ忽チ天外ニ飛ビサルト云フ様ナ始末デ、遂ニ何事ヲモ
爲スコトが出来ナイノデアリマセウ。コンナ偶人ノ様ナ軍
人、烏合ノ様ナ軍隊ハ、絶對的役ニ立タナイノデアリマス。
此ノ事ハ、獨リ軍人ニ限ツタコトデハナク、何事ニカケテモ、
魂ノ出来テ居ラナイ者ハ、波瀾^瀾ノナイ間ハ兎モ角何シ

トカシテ一人前ノ様ナ顔ヲシテ通サレマスガ、イザ鎌倉ト云フトキニハ、無能ノ蹟キヲヤツテ大味噌ヲ附ケルノデアリマス。以上ハ大和魂ノ由來、其ノ本質、之カ鍛練法ト云フ様ナコトヲ、不秩序ニ述ベマシタノデ、又多クハ軍事ノ立場カラ論ジタノデアリマスガ、前ニ述ベマシタ通り、大和魂ハ我が邦父祖傳來ノ重寶デ、又國家ノ生存發展ノ爲ニ是非共必要ナモノデ、決シテ軍人ノ專有物デモナケレバ軍隊ニ限り必要ナモノデモナイノデアリマスカラ、一般日本國民ハ誰シモ皆軍隊ニ於ケルソレト同様益、之ガ砥礪擴充ニカメ、更ニ之ヲ子々孫々ニ傳ヘナクテハナラヌモノト信ズルノデアリマス。

二、軍隊教育ト國民教育トノ關係ヲ明ラカ

ニセラレタルコト

從來兎角、軍隊教育ハ軍隊教育、國民教育ハ國民教育ト云ツタ風ニ、全然區劃ヲ立テテ別種ノモノノ様ニ見做サレ、往々ニシテ軍隊教育ヲ以テ國民教育以外ノモノノ様ニ心得テ居ル者ガアリマシタガ、此ノ點ハ識者ノ大ニ遺憾トシ來ツタ所デ、又國家ノ爲大キナ損失デアツタノデアリマス。近頃追々此ノ迷夢カラ醒メカカツテ來マシタノハ誠ニ祝スベキコトト思フノデアリマス。由來我が國デハ、心神共ニ健全ナ青年ハ、悉ク軍隊ニ入ツテ教育ヲ受ケルノデアリマスカラ、此ノ軍隊教育ハ、勿論國民教育ノ一部ナノ

デ、決シテ國民教育以外ニ立ツテ居ルモノデハナイノデアリ
マス。假ニ國民教育ヲ區劃シテ見マス、第一期が家庭
教育、第二期が義務教育、第三期が社會ニ於ケル實
教教育、第四期が即チ軍隊教育ト云フコトニナルノデアリ
マシテ、軍隊教育が完了シテ始メテ國民教育ヲ卒業シ
タトナルノデアラウト思フノデアリマス。ソコデ、軍隊教育
ニ入ル前^ニ諸教育ハ、國家ノ存立及ビ國軍成立ノ根本主
義ト決シテ隔離スルコトハ出來ナイノデアリマス。同時ニ、
軍隊教育モ亦立派ナ國民ヲ養成スルト云フ目的ニ合シナ
ケレバナラヌノハ勿論デアリマス。中小學校師範學校等ノ
兵式體操が漸次盛ニナリ、又早稲田大學等デハ先般軍制

ノ講座ヲ聞カセタト云フヤウナコトモ聞キマシタガ、此等モ
如上ノ著眼カラ起ツタコトト思ハルノデアリマス。歐米諸國
デハカウイフ風ナコトハ大變能ク行キ居イテ居リマスサウ
デ、特ニ米國等デハ、(勿論兵制モ我が邦トハ違ヒマスガ)各
種ノ學校デ將校ヲ聘シテ兵式ノ訓練ヲ行ツテ居ル所が
大變多ク、又此等ノ學校ニハ、特ニ政府カラ補助ヲ與ヘラレ
ルト云フ様ナ特典モアルヤウデアリマス。我が國デモ、高田
其他一二、個所デハ、現役將校が隊務ノ傍ラ學校ノ體操
監督ヤ訓育一部ノ擔任ヲ囑サレテ、現ニヤツテ居ルノデアリ
マス。又新軍隊教育令デハ、軍隊教育ハ、單ニ軍事上必
要ナ教育ヲ施ス^スデハ十分デナイ、良兵ヲ作^造ルト共ニ良民ヲ

作ラナケレバナラヌト云フ主義ヲ採用サレテアリマシテ、即チ
軍隊教育ハ忠勇ナル戦士タリ又純良ナル國民タルニ必要ナ
教育ヲ施スコトニナツテ居ルノデアリマス。之ト同様ニ、軍隊
教育ニ入ル以前ノ諸教育モ、亦必ズ軍隊教育ニ連繫ヲ
取ルベキハ勿論ノコトデ、之ハ識者ノ誰レモが必ズ首肯スル
コトト思フノデアリマス。以下聊カ軍隊以外ノ教育ト
軍隊教育トノ關係ニ就イテ述ベテ見タイト思ヒマス。
抑、我が邦ノ兵制ハ、必任義務兵制デアリマシテ、人民
ノ種類階級ノ如何ヲ問ハズ、誰モ彼モ兵役ニ服スル、即
チ國民皆兵ノ制度ナノデアリマス。從ツテ國防ノ責任ハ
國民全般が一樣ニ負擔シテ居ルノデアリマス。ソコデ、軍人

ト云ヒ一般國民ト云ヒ、畢竟異名同體ト云ツテ支ヘナイ
ノデアリマス。唯、國民ノ誰彼ヲ皆一樣ニ軍務ニ就カセル
ト云フコトハ事實ノ許サナイコトデモアリ、又ソレ程ノ必要
モナイノデ、多數國民ノ中カラ體力ノ强健ナ品性ニ汚
點ノナイ人々、謂ハバ國民ノ精粹ヲ抜イテ代表的ニ軍隊
ナルモノヲ組織シテアルニ過ギナイノデアリマス。デアリマス
カラ、軍隊ハ有爲ナ國民ノ入ル國民學校ト云フテ支ヘハナ
イノデアリマス。ソレテ又此ノ國民學校ニ入ル者ハ、其ノ數
モ中々多イノデアリマス。斯ク申シタラバ、國民一般、各種
教育ト軍隊教育トハ全然離レルコトノ出來ナイモノデ、軍隊
教育ハ國民教育ト分離シテハ決シテ立ツコトハ出來ナイト

云フコトが明ラカデアリマス。又他ノ方面カラ考ヘテ見マシ
テモ、一朝事^有ル時起ツテ戰場ニ勝敗ヲ争フノ固ヨリ軍
人ノ本務デアリマスガ、偕テ戦争ハ決シテ國民ヲ離レテハ
出來ヌモノデ、如何ニ軍人が強クトモ、軍隊ガ精練デアラウ
トモ、國民全般ガ戰場ノ勇士ト同様ナ意氣込同様ナ心
持テ盛ニ之ニ後援ヲ與ヘナカワタラ決シテ戦勝ノ榮譽
ハ擔ハレナイデアリマス。斯ク國民ガ軍隊ヲ刺戟シテ士
氣ヲ鼓舞スル爲ニハ、國民其ノ者ノ精神ガ軍人ト同様
ニ練ラレテ居リ、又相當ニ軍事ノ智識ヲ持ツテ居ラネバ
ナラヌデアリマス。此點カラ見テモ、一般國民ノ各種教育
ト軍隊教育トノ間ニハ、密接ナ一致點ガ認めラレルデアリ

マス。又軍隊教育ノ立場カラ見マシテモ、必任義務兵ハ終
身軍隊ニ止マルモノデハナク、某年限ノ後ハ郷里ニ歸ツテ
ソレゾクノ生業ニ就カネバナラヌデアリマス。ソレニ若シ、軍
隊教育ナルモノガ、一般國民ヲ裨益スル即チ良民ヲ作ルト
云フ主義ニ適ツテ居ラナカツタシタナラバ如何デアリマセ
ウカ。在營何年カノ間、ソレモ最モ有爲ナ青年時代ヲ徒
費スルト云フ結果ニナルデアリマス。之ハ國家ノ爲メ誠ニ
忍ブコトノ出來ナイ所ナノデ、軍隊教育ハ是非共一般國
民トシテ大ナル利益ヲ得ル様ナ方針テ行ハレネバナラヌデ
アリマス。即チ、此點ハ、軍隊教育ガ確ニ國民教育ノ一部
デアルト云フコトヲ證據立テテ居ルデアリマス。以上述べ

マシタ通り、軍隊教育ト一般國民ノ各種教育トハ實ニ
唇齒輔車ノ關係ガアルノデアリマス。ソコデ、壯丁ガ軍隊
即チ國民學校ニ入ル以前ノ小中學校、乃至ハ家庭ノ教育
ハ、軍隊教育ニ能ク連繫ヲ有タセ、又國民學校タル軍隊教育ハ一般
國民ヲ裨補スルヤウニ實施サレホバラヌノデアリマス。之ヲ事實トシテ見マセウ
ナラ、軍隊教育デ大變ヤカマシク言フ質素ヲ貴ベト云フヤウナコ
トハ、地方ニ出テ身ヲ處シ家ヲ齊ヘ今日ノ弊風タル奢
侈ノ風習ニ逆行スル助ケトナリ、又兵卒ニ終始吹キ込
ム所ノ協同一致ト云フコトハ、利己心ヲ棄テテ社會ノ爲ニ
働キ、之ヲ小ニシテハ一町一村ノ團結ヲ鞏固ニシ、之ヲ大ニシ
テハ國家主義ヲ扶植スルト云フ結果ヲ來スノデアリマス。

又軍隊デ徹頭徹尾ヤカマシク言フ軍紀ダトカ服従ダトカ
云フコトハ、隊ヲ出テカラ直グ民紀ヲ正シクシ社會ノ秩序
ヲ重ンスルト云フコトニ效果ヲ呈スルコトニナルノデアリマス。
其ノ他獻身殉國ノ一點張りテ朝夕練ラシタ頭ハ、能ク
混亂盤渦ヲ極ムル世ノ風潮ニ棹シテモ方向ヲ誤ラナイト
云フコトニナルノデアリマス。以上ハホンノ一二ノ例デ、マダ
コンナコトデハナク、總ジテ軍隊デ涵養サレタ目ニ見エナイ
性格トカ思想トカ云フモノハ、人間ガ世ニ處シテ何事ヲス
ルニモ利益ガアルノデアリマス。尚又形而下ノ方カラ申シ
マシテモ、酷暑酷暑ニ堪ヘ勝テ、勞苦闕乏ニビクトモシナ
イ様ナ至健ナ體カハ、總テノ仕事ニ向ッテ極々大切ナ要

素デアリ、又禮儀ヲ正シクシ居作ヲ嚴格敏速ニシ簡明
確切ナ言語ヲ用フルト云フタヤウナコトハ、直接世ニ處シ
社會ニ立ツ上ニ誠ニ必要ノコトデ、延イテハ社會ニ良イ不
文律ヲ作ルト云フヤウナコトニモナルノデアリマス。併シ、
以上形而上形而下ニ通ジテ申シ述ベマシタコトハ、多クハ
軍隊教育ノ副産物トモ謂ヒ得ベキモノデ、軍人必須ノ要
件ヲ授ケル結果ガ、自然ト良民タルニ必要ナ素質ヲ享
有スルト云フコトニナル譯デアリマス。尤モ、之丈ケテハ、マカク
軍隊教育ガ國民教育ト云フコトニ特ニ骨ヲ折ツテ居ル點
が見エ難イ様デアリマスガ、軍隊教育ハ之丈ケテ決シテ満
足ヲシテハ居リマセンデ、此ノ上更ニ直接軍人トシテ必要

ナルコトノ外ニ、全ク將來退營後ノ一身處世ノコトヲ顧慮
シテ教育ヲ施スノデアリマス。併シ、軍隊教育ノ時日ハ、教
ヘル事柄ニ比シテ誠ニ短イノデアリマ~~ス~~カ~~チ~~、軍事教育ノ爲
ノ時間ヲ特ニ殺グト云フコトハ、逆モ出來ナイ相談デアリマスカ
ラ、此ノ事ハ、軍務ノ餘暇ヲ利用シ、一方又慰安トカ娛樂トカ
云フヤウナ點モ十分顧慮シテ、工夫ニ工夫ヲ凝ラシテヤル
ノデアリマス。從ツテ各隊一樣ニト云フコトハドウシテモ出來
ナイ譯デ、東京ノヤウナ便利ナ處ト北海道ノヤウナ不便
ナ所トハ自ラヤリ方が異リマセウシ、又同ジ隊デモ教育時
機ノ關係ヤ其他デ、常ニ同一ニハヤリ兼スルノデアリマス。
由來兵卒ノ在營期日ハ、教課ノ多イノニ較ベテハ如何ニモ

短ク、其ノ上經費ヤ色々都合テ、歩兵ノ如キハ、御承知ノ如ク最近三年カラ二年ニ減少サレマシタヤウナ次第デアリマスガ、之ニ反シテ、教ヘル科目ハ時運ノ進歩ニ伴フテ彌カ上ニモ増ス一方ナノデアリマス。現ニ日露戦争後新ニ増シタ科自ノ中テ主要ナモノヲ擧ゲテ見マシテモ、機關銃ダトカ通信術ダトカ云フ様ナモノガ加ハツテ來テ居ルノデアリマス。斯ク^{繁忙}ヲ極メテ居ルニモ拘ハラズ、決シテ下士兵卒ノ一身處世上ニ必要ナ教育ヲ怠ルト云フコトハ許サレナイノデアリマス。一ニ例ヲ擧ゲテ見マセウナラ、兵卒ノ内ニハ隨分無學ナ者が居リマシテ、自ニ一丁字ノ無イ位ナラマダシモ、自分ノ名ヤ親ノ名サヘモシカト承知シテ居ラ

ナイ様ナ者が隨分アリマスルシ、手紙ノ書ケナイ者ヤ日記帳ノ書ケナイヤウナ者ハ決シテ少クハアリマセン。此等ノ人達ニハ色々ノ方法デ、セメテハ郷里ノ父母^或親戚ヘナリ自分デ手紙ノ一ツモ送レル様ニト苦心シテ教ヘテアルノデアリマス。又我が國デハ、一般ニ農業ニ就イテ居ル者が多クアリマスカラ、日曜ダトカ土曜ダトカ云フ少シ閑ナ時分ニハ、手近ナ農園^一見學ニヤツタリ、農學ノ教師ヲ招イテ講話ヲシテ貰フ様ナコトモヤルノデアリマス。又下士等ニナリマスト、永年軍隊ニ居リマシテ、自然武事一方ニ偏スル恐ガアリマスノデ、特ニ意ヲ用ヒテ、閑ノ折ニハ、人々ノ將來ノ希望ニ應シテ、算盤等モ教ヘルコトモアリ

マシ、又英語や法律ノヤウナコトヲ習フ爲ニ營外ニ通學
スルコトモ許サレルノデアリマス。下士候補者等ニハ、必要が
アレバ、一通リ歴史や地理算術等モ教ヘ込ムノデアリマス。之ハ
少シ別ノコトニ直リマスガ、下士ノ爲ニ將來文官ニ採用ス
ルヤウナ道モアケテアリマスシ、又退營後ノ就職等ニ
ハ相等ナ便宜ヲ圖ツテ居ルノデアリマス。此ハホンノ一例
ヲ擧ゲタマデデアリマスガ、斯様ニ、軍務多端ナ中
ニモ出來ル丈ケ普通ノ教育ヲ施スコトニ腐心スル
ト云フノハ、一ニ、軍隊教育ハ國民教育ノ一部テ
アツテ社會ヲ利スル様ニセネバナラヌト云フコトカラ
割り出サレテ居ルノデアリマス。

ソコデ一般國民ノ各種教育、側カラモ亦、之ト同筆法否之以上ニ軍隊
教育ニ連撃ヲツケネバナラヌト云フコトハ勿論デアリマス。若シ此ノ
間ニ何等カ杆格相容レナイト云フ様ナコトガアツテ、一般ノ國民教
育が軍隊ニ不向ノ様ニ國民ヲ造ルト云フ様ナコトデモアリマスナラ
バ、軍隊が迷惑スル許リデナク、國家ノ爲ニ誠ニ忍ブコトノ出來ナイ
大損失ト云ハネバナラヌノデアリマス。殊ニ各種教育中ノ社會ニ於ケ
ル實務教育ハ、軍隊教育ト一番縁ガ近イノデアリマスカラ、之ガ
立派ニ行ハレルカドウカト云フコトハ、軍隊教育ニ多大ノ影響ガア
ルノデアリマス。嘗テ或隊デ犯罪者ノ統計ヲ取リマシタ所ガ、義務
教育ヲ終ヘテ後、炭坑夫ダトカ船乗ダトカ云フモノニナツテ社
會郷黨ノ間デ道德ニ關スル自然ノ感化トカ又ハ講話等ヲ聽

カナイ様ナモノニ一番犯罪者ガタカツト云フコトデアリマス。之ハ
社會ニ於ケル教育ガ殆ント中絶シタ者ニ就イテコトデアリマスガ、
縦シ社會ノ教育ガ中絶シナカワダニシク所ガ、此ノ社會教育ガ立
派ニ行ハレルト云フコトハ中々難イノデアリマシテ、如何ニモ遺憾ニ堪
ヘナイ^{コト}デアリマス。此ノ頃世間デハ愈々入營ト定マワタ壯丁ニ軍隊
ニ入ル爲ノ豫備教育ト云フ様ナコトヲ、青年團等デ發企シテ行
フコトガ處々ニ行ハレテ居リマシテ、固ヨリ結構ナコトデアリマスガ、之
丈ケデナクマダ必要ナコトガ他ニモアリハスマイカト思ハルノデアリマ
ス。ソレハ獨リ入營ト定マワタ者丈ケデナシニ、郷黨ノ間ナリ又ハ或
一部ノ社會ナリノ間デ、徳望アル人トカ達識ノ人トカニ、教育勅語又
ハ社會公德上ノ講話等ヲシテ貫ヒマシタリ、又ハオ互ノ間デ啣嗟碌

磨スルト云フ様ナコト、乃至ハ軍事ノ研究ヲシ軍事思想ノ普及ヲ
圖ルト云フ様ナ企テテ、一般的ニヤツタラドウカト云フコトデアリマス。何
故ナラハ現役兵トシテ入隊スルモノ許リガ國家ノ干城ト云フ譯デハナ
ク、補充兵トシテ入隊スル人モアリマセウシ、又軍隊ニ入ラナイニシテモ、
國民兵トシテ誰モ國防ノ責ハ別タナケレハナラヌカラデアリマス。由來、
此社會教育ト云フコトハ學校教育ノ様ニ都合ヨクユキ兼ネルモノ
デアリマスカラ、ソコハ人々ノ憂國ノ至情ニ訴ヘテ、是非發奮スル必要
ガアルト思フノデアリマス。以上述べマシタ軍部以外ノ國民教育ト^{軍隊教育ト}連
繫一致ト云フコトハ、無論有形無形兩方面ニ亘ラネバナラヌノデアリマ
スガ、我が邦デハ、就中此ノ無形上ノ連絡ニ重キヲ置ケコトガ他列國
ニ比シ大イニ必要ナノデアリマス。何故ナラバ、前節ニモ述べマシタ通り、

我が邦特有ノ強シハ無形上ノ方ニアルノデアリマスカラ、此ノ點カラ申シ
テモ、一般ノ國民教育トハ、^{軍隊教育ト}相共ニ致合カシテ、^{精神方面}他國ニ比シテ大ニ優位
ヲ占メナクテハナラヌデアリマスガ、尚此外ニ一見逃スコトノ出來ナイ有
カナ一理由ガアルノデアリマス。ソレハ歐米諸國デハ軍隊ト一般國民トノ間
ニ形ノ上ノ連絡ガヨクツイテ居リマスガ、我が邦デハ此點ガ諸外國ト大ニ異
ナツテ居ルト云フコトデアリマス。具體的ニ申シマスト、歐米デハ一般國民ト軍
隊トノ生活状態ガ殆ンド大差ナク、又歐米人ノ間ニハ、坐作進退儀
禮ト云フ様ナコトニ關シテ、立派ナ不文律ガ澤山アツテ、民紀ト云フ様
ナコトガ餘程正シイデアリマス。例ヘバ、二人以上並ンテ道ヲ歩ム時ハ、
歩ヲ揃ヘルトカ、多人數道ヲ歩ム時分ニハ交通ノ妨害ヲシナイ様ニ、
一列ニ横ニ並バズニ縦隊ニナツテ通ルトカ、^又服装トカ敬禮トカ云フ

コトモ誠ニキマリガヨク、軍隊ト太シタ變リノナイ様ニナツテ居ルノデ
アリマス。又日本デハ、射撃トカ馬術トカ云フ様ナコトハ殆ンド軍隊
ノ專有物ノヤウニナツテ居リマシテ、一般ノ人ノ間ニハ極僅シカ行ハ
レテ居リマセンガ、西洋邊デハ、此等ハ國民ノ技術遊戯トシテ盛行
ハレテ居ル所ガ多イデアリマス。從ツテ軍人トシテ入隊スル壯丁ハ夙
ク已ニ社會ニ居ルトキカラ、或部分ハ軍隊的ニ仕込まレテ居ルノデア
リマシテ、自然ト軍隊教育ノ負擔ガ輕クナツテ居ルノデアリマス。偕
テ此ノ生活状態ノ相違ト云フコトハ、一朝一夕ニハ改マラナイコトデ、歐
米ニ行ハレテ居ルコトガ皆良イト云フ譯デモナレ、其ノ中ニハ良イトハ
漸々日本ニモ輸入サレルノデアリマセウガ、俄ニドウカウト云フコトハ出
來ナイノデアリマス。ソコデ、兎ニ角、斯様ニ、日本デハ、軍隊ト一般國

民トノ間ノ有形上ノ連絡調和ト云フコトハ能ク行ハレテ居リマセン
カラ、此補缺ヲウケルニハ、ドウシテモ精神上ノ方面ノ一致連繫ヲ緊密
ニスルト云フコトヨリ外ニ道が無イト思ヒマス。以上ハ、我が邦建國ノ由來、
國軍ノ組織、國民ノ性情ト云フ様ナ、色々ノ點カラ考ヘマシテ、一般
ノ國民教育ト軍隊教育トノ關係、即チ軍隊教育モ亦國民教育ノ一部ト云フテ
差支ヘノナイト云フコトヲ述ベタノデアリマスガ、軍隊教育令ニハ、此ノ
關係ヲ明示サレテ居リマシテ、之ハ確ニ新教育令ノ特色ノ一ト言
ツテ良カラウト思フデアリマス。

三、平素ノ起居容儀即チ儀ヲ正シクスルコトヲ以テ 精神教育ノ一大資料トセラレタルコト

何レノ國デモ、國民ノ俗習ノ中ニハ、良イ所モアル代リ又惡イ點
モアルハ數ノ免レナイ所デ、我が邦トテモ、亦幾多ノ特色ヲ有ツテ居
ル半面ニハ、餘リ好マンカラヌ弊害習モナイデハナイノデアリマス。就中、
起居容儀ヲ整ヘ身ノ廻リヲキケント整ヘルト云フ様ナ點ハ、歐米
人ニ比シテ如何カト思ハレルノデアリマス。ドウモ我が國民ハ一般ニ、
此起居容儀儀礼ト云フ様ナコトニ、餘リ重キヲ置カナイノデハナカラウカト
思ハレマスノミカ、勤モスルト、コンナコトハ些細ナコトデ、ドウデモ宜シイ、
英雄豪傑ノ爲スヘキ業デナイ、等ト云フテ閑却スル者モアルヤ見
受ケラレルノデアリマス。垢面長爪蓬頭弊衣ト云フ様ナコト
ヤ、又ハ渴スレバ各々飢ウレバ食ヒ、虱ヲ捻ツテ當世ノ弊ヲ論ス
ルト云フヤウナコトハ、或ハ偉人傑士ノ半面ニ於テ見ラレタカ
モ知レマセンガ、之ガ何モ書生ノ本領デモナケレバ、良習美

俗デモナク、王猛ガ虱ヲ捻ツタカラトテソレヲ模ネレバ英雄ダ
ト云フノデモナンデモナイノデアリマス。婦女子ノヤウニ容貌ヲ
飾レトカ、錦衣美繡ヲ纏ヘトカハ決シテ云ハヌノデアリマスガ、
前述ベタヤウナコトハ、此トハ自ラ軌ヲ異ニシテ居ルノデアリマ
ス。我ガ邦デモ、昔ハ社會ノ間ニ隨分立派ナ不文律ガ嚴
重ニ行ハレテ居テ、此ノ起居容儀ト云フヤウナコトモ良ク行
キ届届イテ居ツタ様デアリマスガ、維新當時ノ大變動コノカタ、
殆ンド全ク此ノ方面ノコトハ閑却サレテ、今ニ尚立派ニ出來
上ラナイヤウデ、所謂今ハ過渡期ニ在ルノダト思ハレルノデア
リマス。此點ハ誠ニ遺憾ナコトデ、形等ハドウデモ良イト一口ニ
言ツテ仕舞バソレマデデアリマスガ、決シテサウ云フモノデハナ

カラウト信スルノデアリマス。即チ、此ノ行住坐卧ヲ正シクシ、礼
儀ヲ重ンズルトカ起居ヲ嚴格ニスルトカ云フコトハ自然ト精神
ヲ肅正ニシ、謹恪誠實ノ心ヲ養フコトニナルデアラウト思フノデ
アリマス。サレバ古人モ「カクテ動容貌カクテ斯遠暴慢カクテ」ト言ツタデハゴザイマ
センカ。反言スレバ放縱ナ生活状態ハ、延イテ精神ニ大ナル惡
影響ヲ及ボスノデアリマス。ソコデ軍隊教育デハ、此等ノ
點ニ特ニ意ヲ用ヒテ、極メテ嚴格ナ、節度アル生活ヲ要求
シ、坐作進退一々規矩準繩ニ當テ歎メルヤウニシ、古武士
ノ家庭ニモ劣ラナイ躰ヲシテ、不知不識ノ中ニ内心ノ肅正ヲ圖
ルト云フコトニ大ニ意ヲ用フルノデアリマス。些細ナ例デハアリマス
ガ、朝起キルカラウ晩寢ル迄一々號音デキケンノトヤラセルノハ、

規律正シイ精神ヲ養フ爲、又敬礼ヤ服装ヲ正シクサセルノハ
自ラ恭敬端正ト云フヤウナ心ヲ内ニ修得セシメヤウガ爲デアリ
マス、其ノ他、身ノ廻リノ品物ヲ一絲不紊レヌ様ニ所定ノ位置ニ
整頓サセルト云フコトモ、何モ唯形ノ上ノ美觀ヲ要求シテ
ニ齊一ヲ望ムノデハナク、實ニ、外容ト相俟ツテ、内心ノ修養
ヲ全カラシメヨウト云フニ外ナラヌノデアリマス。何モ、^柵柵ノ上ノ品
物ヲ、豆腐ヲ切ツタ様ニ四角ニ整頓シタ所デ、ソレデ人間ノ精神
ガドウカウト云フコト^トガアルモノカ、我々ハ、机ノ上ハ毎日亂雜シテア
リ、袴ハ破レタ、虚座敷ノ隅ニ抛ゲホカシ、瓜ノ間ニ垢ガ一パイニナ
ワテ居ルガ、ソレデモ精神ハ至ツテ端正ダ等ト、我田へ水ヲ引ク人
ガアルカモ知レマセンガ、ソレハ負ケ惜ミノ議論デ、内心ガ端正デ

外容ガ整ハナイト云フ理法ハ決シテ無イノデアリマス。誰ヤラガ
皇太神宮ニ參拜シテ詠ンダ歌ニモ見ラレル通り、森嚴ナ社
ノ前ニ立テバ何トハナシニ心ガ正シクナルト云フデハアリマセンカ。
又容儀ノ至ツテ正シイ人ノ面前ニ出ルト、自然ト我襟ヲ繕フト
云フコトヤ、奥床シク蒲洒ニシテアル座敷へ入ルト、心ガサワパリトシ
テ邪念妄想等ハドコヘヤラ飛ンデンマウト云ワタヤウナコトハ、
能ク人ノ云フコトデモアリ、斯ク申ス私共モ實際屢々嘗メタ實
驗デアリマス。況シテ自分自身が身ノ廻リヲ正シクシテ、ソレデ心
ガ直ガニナラヌト云フ苦ハドウ考ヘテモナイデハアリマセンカ、軍
隊デハ、此種ノ教育ヲ内務教育ト云ワテ居リマシテ、軍隊
内務書ノ趣旨ニ依ツテ實施サレテ居ルノデアリマス。此ノ

軍隊内務書ノ中ニハ、随分細カシイ規定モアルノデアリマスガ、
其ノ期スル所ハ外形ノ齊一ヤ表面ノ美デナクシテ、營内ノ規律
アル起居動作ノ間ニ自ラ立派ナ心性ヲ養ハウト云フノガ本旨
ナノデアリマス。茲デ一言御斷リシタイノハ、前々カラ述ベマシタ様
ニ、軍人ノ行住坐臥ハ飽ク迄嚴格ヲ要求スルノデ、苟クモ偷安ト
カ^放肆トカ云フ様ナコトハ寸分ダモ許サナイノデアリマスガ、併シ
唯、無暗ニ嚴格嚴格ノ一^張振^張リデ兵卒ヲ苦メルノデハ決シテナ
イノデアリマス。コナコトハ今日監獄デ罪人ヲ扱フノニサヘモ注意
サレテ居ルコトデ、此ノ間ニ温イ血ガ流レテ居ラネバナラヌト云フ
コトハ固ヨリノ話シデアリマス。從來動モスルト、軍隊ト云フ所ハ
實ニ慘^酷惜^酷ナ所デ、血ノ冷イ鬼ノ様ナ上官ガ、無暗ニ兵卒ヲ苛

メテ許リ居ッテ、上下ノ間ハ丸デ仇同志ノヤウデアル等と思ッテ
居ル人がアリマシタガ、之ハ大ナル誤解デ、少クトモ進歩シタ今
日ノ軍隊教育デハ夢ニモ見ラレナイコトデアリマス。世ノ人が、往
々コナナ誤解ヲ抱キマスノニハ、色々ノ原因ガアリ、前述ベマシタ
通り、一般社會ト軍隊トガ疏遠勝デアワテ、世間ノ人が軍隊ノ
實狀ヲ探求スルト云フヤウナ事ノ餘リ行ハシナカ^ツタノハ、無論
一大原因ニ數ヘルベキモノデアリマセウシ、軍隊教育其物モ、昔
ハ今ノ様ニ進歩シテ居ラナカワタト云フコトモアリマセウガ、直
接コナナ謬想ヲ世ノ人々ニ有タセタト云フノハ、不謹慎ナルモノノ
言動ガ與ッテ大ニカノアルコトト信ズルノデアリマス。即チ、人ハ誰
シモ自分デ自分ノ働キ振リヲ輪ニ輪ヲカケテ人ニ吹聴シ、己ノ艱

苦ヲ針小棒大ニシテ發表シテ鼻ヲ高クシヨウト云フヤウナ人
情ノ弱點ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、除隊兵中ニハ、淺ハカナ考
ノ者モナイデハアリマセンカラ、此等ノ輩ガ、ドウカスルト自分ノ
功名ニシヨウガ爲ミ、軍隊ハ實ニ辛イ所ダ誠ニハケ間敷イ所
ダ、少シ何カスルト直グニ暗イ所へ入ラレルト云ワタヤウナコト
サモ大袈裟ニ吹キ立テテ、儲テ自分ハ此ノ辛イ所ヲ切り抜
ケテ來タガドウダ偉イコトヲ云フヤウナ意味ヲ寓スルハデア
リマス。サーサウナルト、一犬虛ニ吠エテ群犬之ニ倣フデ忽チ世
間ニハケ間敷クナルノデアリマス。軍隊教育ノ本旨ハ無論ッ
ンナモノデハナイノデ、達識ノ士ハ、コナコトハ勿論信ジモセネバ、
又之ニ動カサレモシナイノデアリマス。一体此ノ内務教育ト云

フコトハ、家庭的ニ行ハルベキモノデ、表題ニモ掲ゲテアリマス通
リ、躰デアリマスカラ、父母ガ子弟ヲ教育スルノト同ジコトニ徹
頭徹尾慈悲真正ノ愛ト云フモノガ原動力ニナワテ行ハレル
ノデアリマス。或時ハ秋霜烈日ノヤウニ上官ノ叱カルコトモアリ
マセウガ、一體此ノ叱ルト云フコトハ、軍隊デハ大ヘンハケ間敷ク言
フ所デ、ドコ迄モ誘掖訓誡ヲ先トシ、摘發責罰ハ後トシナ
ケレバナリマセンシ、又愈々叱ルニシタ所デ、先ヅ教育者自ラが深
ク省ミテ己ノ導キ方が足ラナカワタノデハナカラウカ、赤心ノ注ギ方
が薄カワタノデハナカラウカト云フ風ニ、幾度カ自問自答ラシタ上
デ、淚ヲ振ツテ馬糞ヲ斬ツタ孔明ノ心ヲ心トシテ始メテヤルコト
デ、夫ノ嚴父ガ可愛イ子供ニ對シ目先ノ愛ヲ嚙ミ殺シテ叱ルノ

ト、毫シモ異ナラナイノデアリマス。軍隊内務書ニモ申シテアリマ
ス通り、兵營ハ、艱苦ヲ共ニシ死生ヲ同じクスル軍人ノ家庭デア
リマスカラ、前述ベタ嚴父ト共ニ慈母ガアツテ、眞實ノ愛ヲ込メ
テ、手取り足取り不斷ニ兒子教養ノ任ニ當ルノデアリマス。中隊
デ申スナラバ、中隊長ハ差當リ嚴父ノ役デ、准士官下士ガ慈母
ノ役目ヲスルコトニ規定サレテ居ルノデ、慈母タル准士官下士ハ其
ノ名ノ如クニ朝顔ヲ洗フコトヤラ箸ノ上ケ下レ迄細クト教
導クノデアリマス。夫ノ深夜世ノ人ノ眼濃ヤカナルトキ週番士官
ヤ下士ガ舍内ヲ巡テ、窓ノ開キ方ヤ毛布ノ著方等迄一々注
意スルノハ、間ハズトモ知レタ國家ノ干城デアリ可愛イ兒デア
ル兵卒ニ、風ヲ引カセマイ寢冷エラサセテハナラヌト云フ親心ニ外

ナラナイノデアリマス。又、朝顔ヲ洗フニモ冷湯デロラツツガセ、
斷エズ兵卒ノ身體ニ注意シテ、爪ヲ剪シ、髪ヲ刈シ、生水ハ決シ
テ飲ムナ、蝦ヤ天麩羅ハ食ベテハナラヌト、口喧シク云フノハ何ノ爲
デアリマセウカ。兵卒ノ身ニ若シモノコトガアツテハ相濟マヌ、郷里ノ
父兄ニ代ルベキ上官トシテソレデハ甚ダ甲譯ナイト、兵卒ノ身ノ健
全ヲ心カラ祈レバコソノコトデアリマス。武裝凜々シク演武場裡ニ
立テ、武ヲ練リ技ヲ鍛ヘルトキニハ、將校以下悉ク戰場ニ出タ覺
悟デ、昔ノ武士ノ道場ニ出タ心懸ケト少シモ異ル所ハナイノデ
アリマスガ、猶テ一度營舎ニ歸ワタナラバ、今迄ノ指揮官ハ父
母ト爲リ、今迄ノ教官ハ兄姉ト爲リ、茲ニ和氣兩謁々タル家
庭ガ作ラレル譯デアリマス。此ノ家庭ニ父母兄姉タルモノハ、アラ

ン限リノ温情ト真正ノ慈愛心トヲ以テ、前述バタ如ク日常
ノ起居ニ就イテ諄々風化教導ニカメルノデアリマス。即チ、融々
和樂、一家團樂ノ間ニ自ヅト立派ナ躰ヲシ、身嗜ヲツケテ、上下ノ
間ニ溢ルル許リノ情誼ヲ堪ヘサセル様ニ心懸ケ、一朝有事ノ秋ハ一
致團結欣然トシテ相拊^擁シテ起チ、上下堅ク相結バレ、緩急相救
ヒ、悦ンデ軍務ニ勤勞シ君國ノ爲ニ一身ヲ捧ゲルト云フ^氣剛性
ガ養ハレルノコト、是ガ實ニ我が日本帝國軍隊ノ本領デアルノデ
アリマス。軍隊ハ、教練ヤ演習ガ如何ニ整正ニ出來テモ、家庭
的ニ湧キ出ル所ノ此ノ上下相愛ノ情^誼ガナカ^ツタナラ、決シテ
戦争ノ役ニハ立タナイノデアリマス。内務ノ間ニ此ノ情愛ガ
養ハレテコソ、始メテ戰場ニ出テ人ヲ見棄テルコトガ出來ナク

死生ヲ共ニシヨウト云フ心情ガ萌シテ來ルノデアリマス。戰
友ガ斃レタノ見^テハ兄弟ノ仇ヲ報スルト云フ様ナ氣カ起リ、
又、戦闘悲惨ノ際笑ツテ戦線ニ立ツ嚴父ノ顔ヲ見テ將ニ
喪失セントスル心神ヲ振り興シ、傷イタ足ヲ踏ミシメテ進ム
氣ニナルノデアリマス。斯ク、内務教育ハ家庭的ニ行ハレル
ノデアリマスカラ、ソコデ、父兄タル上官ハ、能ク子弟タル兵
卒ノ性狀ヲ明ラカニスル必要ガ出テ來ルノデアリマス。軍隊
デ、兵卒ノ身分經歷性質ハ勿論ノコト家庭ノ狀況嗜好
ノ如何迄詳細ニ調査スルノハ、之ガ爲デ、此等ノコトヲ承知
シタ上デ、始メテ眞ノ父兄ト同ジニ子弟教育ガ適宜ニ行
ハレルノデアリマス。軍隊デ、常ニ兵卒ノ父兄ノ人々ヤ地方ノ

吏員等ト密接ナ連繫ヲ保ツト云フノハ、全ク此等ノコトヲ詳シク調べテ、個人ニ的中スルヤウニ躰ヲ施サウト云フノニ外ナラヌノデアリマス。例ヘテ見マヤウナラ、~~本~~隊前カラ酒ヲ飲ムト亂暴デモスルト云フ様ナ風ノアツタモノニハ、努メテ酒ヲ飲ム機會ヲ與ヘナイ様ニスルトカ、又、内氣ニ過キル様ナ者トカ精神病ノ系統ノ家ニ人ト爲ツタ者等ニ對シテハカメテ精神ノ刺激ニナルコトヲ避ケル様ニスルトカ云フ風ニ、細カク所迄著眼ヲシテ、間違ノナイ様、自然ニ善ニ遷ル様ニト注意サレルノデアリマス。大隈伯が嘗テ都下ノ或隊ヲ視察サレタ時、兵卒個人ニ就イテ詳細ニ調べタ身元明細書ヲ見ラレ、又之ニ應スル教育法ヲ觀察サレテ、是レハ一種ノ感化

院デアルト讚美サレタコトガアルソウデアリマスが、決シテ偶然デハナイノデアリマス。尚、内務教育デハ、以上述べマシタ様ニ個人ノ身元其他ヲ参照シテ教育ヲ加減スル許リデナク、地方ノ人情風俗ト云フコトマデ決シテ閑却セズニ之ヲ加味シテ教育ヲ施シ、特色ハ之ヲ保留シテ其ノ隊ノ強ミトシ、弊習ハ之ヲ矯メ直シテ改良スルヤウニシ、又、教育ノ仕方モ地方ニ應スル様ニ適當ニ選擇スルノデアリマス。又、更ニ之ヲ大ニシテハ、國民通有ノ美點トカ弊習トカ云フトニ著眼ヲシ、改善スベキモノハ改善ヲシ、助長スベキモノハ助長ヲシ、總テノ教練演習モ、國民ノ性狀ニ合致スル様ニ實施サレルノデアリマス。偕テ斯クノ如ク軍隊デハ躰ニ重キヲ置キマスが、殊ニ壯丁ガ入營スル時分ニハ、前ニモ申シマタ通り生活狀態ガ劇變シマスノデ、特ニ多大ノ注意ヲ拂ヒ偉大ノ努力ヲ要スルノデアリマス。

始メハ、靴ノ穿キ方服ノ著方迄、恰モ母ノ幼兒ニ對スルト同様ニ世話ヲセネ
ハナラヌノデアリマス。ソコテ此等ノ教育ニ費ス時間ハ、在營年間ヲ運算
シマスト實ニ莫大ナモノテ、歩兵ハ二年其他ハ三年在營ノ制度デアリマスガ、
其ノ在營年限中カス、此等ニ費ス時間ヲ差引キマスト、残りノ軍事専門
ノ教育ニ充テ得ル時間ハ甚ダシク減殺サレルノデアリマス。此點ハ、前節
テモ述ベマシタ通り、歐米諸國ニ比シテ大ニ不利トスル所デアリマス。
ソコテ、一般ノ國民教育ヤ家庭教育ノ方デ、此等ノ點ニ今ヨリ
一層注意ヲ拂ハレ、一般社會デモ亦此點ニ意ヲ用フル様ニ
ナツタナラバ、軍隊教育ト國民教育トノ間ノ唇齒輔車ノ關係
が愈々密接ニナツテ、彼此相濟スト云フ點ニ於テ貢獻ス
ル所が極メテ大デアラウト信スルノデアリマス。

四、各種教育ニ就キ主眼ヲ明ラカニセラタルコト

軍隊教育令ニ掲ゲラレテアリマス軍隊教育ノ種類ハ一般教育、
特業教育、特別教育(將校教育)、士官候補生在隊間教
育、准士官下士教育、一年志願兵教育、六週間現役兵教
育、補充兵教育)勤務演習教育等デアリマシテ、新教
育令デハ、此等各種教育ノ主眼目的手段方法等ヲ明
示サレテアリマスガ、此ノ中一般社會ノ人々ト關係ノ深イモノ
丈ニ就イテ要旨ヲ述ベテ見タイト思フノデアリマス。
ノ一般教育ニ就テ

一般教育ハ將校下士兵卒ヲ教育訓練スルヲ目的トスルノ
デアリマスガ、將校下士ハ教育者ノ位置ニ立ツ場合が多く、

又其ノ他種々ノ關係カラ、此ノ教育丈デハ十分仕込ムコトが出来
マセンカラ、之以外ニ尚特別ノ教育ヲ要スルノデアリマス。ソコデ一
般教育ハ年々ノ徴兵ヲ教育スルノ本位トシテ、又之ニ最モ
重キヲ置クノデアリマス。即チ、多クノ國民中カラ選抜サレテ
毎年入隊ヲスル壯丁ヲ十分練ツテ、良兵タリ良民タル立派
ナ者ニ仕上ゲヨウト云フノデアリマス。此ノ教育デ特ニ教育者
ニ要、求サレテ居リマス。ト云フコトデアリマス。完
備教育トハ、筆者が便宜上勝手ニ附ケタ名前で、固有
ノ詞デモナケレバ軍隊ノ術語デモナイノデアリマス。此ノ意味
ハ、兵卒ニ教ヘ込ムコト、就中其ノ無形上ノ教化ヲシテ、獨リ在
營時丈デナク、全服役間即チ十七年四ヶ月間持續サセル

様ナ意氣込デ十分ニ教育ヲスルト云フコトデアリマス。元來軍
人ハ在營時丈軍事ニ堪能デアレバ良イト云フ名ノモノデハナ
ク、豫備役ニ在ルト後備役ニ在ルトヲ問ハズ、何時國家ニ事
が起ツテモ立派ナ國家ノ干城トシテ君國ノ為ニ勤勞スル
責務ヲ有ツテ居ルノデアリマス。カラ、二年ナリ三年ナリ、兵營ニ
居ル間丈ハ立派ナ軍人デアルが、儲テ郷間ニ歸ツタ後ハド
ウデモヨイト云フ譯ニハ決シテユカヌノデアリマス。縱令如何ナル
職ニ就カウガ、又退營後何年經タウガ、一度鍛ヘタ腕一度
練ツタ體、殊ニハ一旦頭ニ叩キ込ムダ大和魂ハ、決シテ消磨シ
テハナラヌノデアリマス。之ガ爲ニハ、教育時日ハ單ニ二三年
ノ短イ間デモ、在營間ノ教育ハ所謂完備教育ノ趣

旨ニ適合スル様ニ實施サレネバナラヌノデアリマス。茲ガ教育者ノ最モ苦心スル所デハ死トナツテ活動スルヲ要スル所以ナノデアリマス。ソコデ教育上ノ開始前ニハ、教育者ハ多年ノ經驗ヤラヌ教育上ノ原則ヤラヌ参照シ、尚時間場所教育器材ノ利用ト云フ様ナコトヲ篤ト考察シタヒテ綿密ナ教育計畫ヲ作り、愈之ヲ實施スルニハ更ニ又週毎毎日毎ノ極々綿密ナ豫定ヲ立テテ、嚴密ニ之ヲ實施シ、全カヲ傾ケテ一寸デモ教育ノ效果ヲ増サウト努力スルノデアリマス。今日青年將校等ガ晨ニ星ヲ戴イテ宿ヲ出デ夕ニ月ヲ踏ンデ歸ルト云フ風ニ、攻マ汲マトシテ日モ尚足ラナイト云フノハ、無理ノナイコトデアルノデアリマス。殊ニ最モ大切ト入營シ

タ許リノ兵卒ヲ教育スル任ニ當ツタ者ナドハ、其ノ多忙ハ中々常人ノ考ヘ及バナイ位デ、夕遅ク歸ルト先ツ其ノ日ノ實施經過ヤラ、實驗ノ結果ヤラヲ記録ニ留メテ、將來ノ參考ニ供シ、又ハ主任者ノ萬一代ツタ様ナトキノ用意ニ備ヘル。ソレカラ明日ノ豫定計畫ニ就イテ、實施ノ爲詳細ナ考察ヲ立テル、精神講話ノ資料ヲ集メルト云ツタ様ナ風デ新聞サヘモ見ル暇ノナイコトハ毎度ナノデアリマス。時ニハ又、態及隊へ行ツテ、宿直デモナイトキニ寢泊リヲシテ、朝夕起居ノ狀況ヲ視察モレ誘導モレタリスル様ナコトモアル。ソレハソレハ實ニ忙シイノデアリマスガ、ソレデモ未ダ中々思フ様ニ行カヌノデアリマス。從ツテ被教育者ノ方モ、隨分骨モ折レ辛

イコトモアルハ勿論デアリマス。併シ人ノ力ニハ限りガアリマスノ
デ、出來ナイコトハ無理ナコトハ決シテ要求ハ致サナイノデア
リマス。若シ除隊者等ノ中デ軍隊ノ要求ハ過度ニ大キク
紀律モ嚴重ニ過ギルト云フ様ナコトヲ云フ者が若シアルト
シマシタナラバ、之ハ自ラ其ノ人ノ克己、忍耐等ニ缺ケテ居
ルコトヲ告白スルト同ジコトデ、薄志弱行ノ極印ヲ自分デ
自分ノ身ニ押スト云フ結果ニナルノデアリマス。又此様ナ輩
ハ、學校ニ居ツテハ、校紀ガ守レズ、郷黨ノ間ニ在ツテハ、民
紀ガ守レナイ者デアリマス。若シ又、前述ヅマシタ様ナ意氣
地ノナイ者デモ、郷黨ナリ學校ナリニ居ル時分ニハ立派ニ
校紀民紀ガ守レルト云フコトガ假リニモアツタトシマシタナラバ、

ソレハ遺憾ナガラ、校紀ヤ民紀ノ弛緩ヲ表明シテ居ルモノ
ト云ハネバナラヌノデアリマス。ソレハソレトシテ、兎ニ角軍隊デハ
有形無形共ニ精限リ根限リノカヲ要求サレルノデ、無理
ハ決シテ無イニシテモ中々骨ノ折レルコトハ已ニ述ヅタ通りデ
アリマス。併シ、斯クシテ被教育者ハ、有形無形共ニ立派
ナ收獲ヲ得、將來ノ企業ニ向ツテ多大ノ「エネルギー」ヲ
蓄ヘ得ルノデアリマスカラ、決シテ無駄骨折リデモナケレバ、
他事デモナイノデ、結局自身ノ爲國家ノ爲ナノデアリマス。
ソコデ、此ノ國民學校ヲ卒業シタ者ニハ、ソレ相等ニ立派ナ
竹筒ガ附クト云フ譯ナノデアリマス。歐洲ノ某々國デハ、兵
役ニ服シタカドウカト云フコトガ代議士ノ選舉權資格ノ一ニ數

ヘラレテ居ルサウデ、又或國デハ、一般社會デ人ヲ使フニモ、先ツ
第一ニ兵役ヲ卒ヘタカドウカト云フコトヲ調ベテ、兵役ニ服シナカ
ツタ者ハ自然賣レロガ惡イト云フコトデアリマスガ、此等ノコト
モ一理アルコトデハナカラウカト思ハレルデアリマス。序ニ申シテ置キ
マスガ、從來ハ、此ノ教育デハ、入隊シテカラ翌年三月ノ末迄ノ
間ノ者ヲ新兵ト呼ンデ居リマシタガ、此ノ「新兵」トイフ言葉ハ、何
トナク輕侮的ノ意味ヲ持ツ様ニナツテ來マシテ、又實際ニ於
テモ格別必要ガアリマセンデ、新教育令デハ此ノ名稱ハ全然
除カレタノデアリマス。

2. 將校教育ニ就テ

我が邦ノ軍制ハ地方的制度ニナツテ居リマシテ、師管ヲ介

ケ、某ノ師團ハ某ノ師管カラ、又其ノ中デ、某ノ聯隊ハ某ノ
聯隊區カラ壯丁ヲ徵募スルト云フコトニナツテ居リマスガ、之ハ
軍事上或ル必要ガアル許リデハナク、地方ト軍隊トヲ結ビ附
ケテ、地方ノ特色ヲ軍隊ニ推シ及ボシ、熊本ハ熊本仙臺ハ仙
臺トイフヤウニ、各、地方的ノ特色ヲ取ツテ其ノ隊ノ特有ノ
強ミニシヨウト云フ意味が大ニ含マレテ居ルデアリマス。ソコデ
我が邦ノ徵兵教育ハ、歩兵デ云ヒマスト、聯隊區ヲ持ツテ居ル
聯隊ガ本位トナツテ實施サレルノガ本然ナノデアリマシテ、聯
隊毎ニ各、其ノ徵募區ノ人情風俗等ヲ加味シテ一種ノ
強ミヲ作リツツアルデアリマス。所ガ、將校ハサウハ行カヌデ
アリマス。補充上ノ關係ヤラ人才平均ノ關係ヤラデ、ハズシモ

一地方ノ軍隊ニ固著スルモノデハナク、何レノ地方ノ隊ニモ共通デ
ナケバナラヌノデアリマス。ソコデ、將校ノ職務ヲ遂行スルニハ
要ナ教育ハ、全軍本位デ行フ必要ガアルノデアリマス。此等
ノ關係カラ、日本デハ、士官學校ノ如キモ全國唯一ツデ、茲デ
皆一樣ニ軍事學術ノ基本ヲ教ヘルコトニナツテ居リ、又各隊
ニ於ケル將校教育モ全軍劃一ニ行ハルノデアリマス。而シテ、
將校ハ軍隊ニ在ツテハ指揮官デアルト同時ニ、亦教官デアリ
マシテ、此等ノ責任ヲ十分ニ充タスノガ隊附將校ノ最大ノ
職務デアリマスカラ、此ノ指揮及ビ教育ト云フコトニ就イテ
練磨向上ヲ圖ルノガ、即チ表題ニ掲ゲマシタ軍隊教育
中ノ將校教育ナノデアリマス。此ノ事ハ前述ベシタ一般教

育ノ間デモ無論或程度迄ハ行ハレマスガ、ソレ丈デハ尚十分デ
アリマセンカラ、ヨリ以上ニ斯様ニ特別ノ形式デ教育ヲ實施
スルノデアリマス。即チ、將校ハ、一般教育ノ間ニ、上官カラ種々
實務上ノ教育ヲ受ケル外ニ、尚特別ノ教育ヲ受ケルノデ
アリマシテ、一面教育者タルト共ニ、又一面ニハ、常ニ被教育
者ノ位置ニ立ツテ、職ヲ終フル迄不斷ニ教育ヲ受ケネバナ
ラヌノデアリマス。併シ、之丈デ將校ノ教育ハ十分カト申シマス
ト、マダ中々此ノ位ノコトデハナイノデアリマシテ、尚各兵科専門
ノ學術技藝ヤ、高等ノ帥兵術等ヲ習フ爲ニハ、隊外ノ
學校ニ入學モ命ゼラレマスシ、他隊ニ差遣サレテ研究スル
様ナ道モ設ケラレテ居ルノデアリマス。尚又將校ハ、終身官

デアリマシテ、何レモ軍務ノ上デ將來ノ大成ヲ期セネバナラズ、又國軍ノ柱石トシテ武技ノ奧義ヲ相傳シ、軍人精神ノ源泉トナルコトガ必要デアリ、更ニ又社會上ノ地位カテ考ヘマシテモ、斷エズ常識ノ培養普通學ノ素養ヲ増進スルハ要ガアリマスノデ、前述ベシタ軍隊教育ノ學校教育ノ外ニ、尚々將校團教育ト云フモノガアリマシテ、之ニ依ツテ益々精神ヲ陶冶シ、武道ヲ練リ、軍事學術ノ蘊藪ヲ極メサセテ他日ノ大成ニ資シ、^總ルテノ點デ軍隊ノ楨榦タルニ恥ヂナイ様ニ十分教育ヲ施シ、且ツ社會上ノ地位ニ順應スルコトノ出來ル様ニ必要ノ教育ヲ懈ラナイデアリマス。此ノ將校團教育ハ、將校團長即チ步兵デ云ヒマスト聯隊長ヲ主腦トシ家

庭的ニ行ハレマスノデ、將校ノ種子タル士官候補生ノ陶冶ニ最モ重キヲ置キ、次イテ青年將校ノ薰陶ニ意ヲ用ヒ、先輩ノ後進者ニ對スルハ恰モ父兄ノ子弟ニ對スル様ニ懇切丁寧ニ頭ノ先カラ爪先迄世話ヲ焼イテヤルデアリマシテ、時々講堂ヲ開キ又ハ道場ニ集マツテ學術ノ練磨ヲ圖リ、殊ニ精神ノ鍛鍊ニ十分意ヲ用フルデアリマス。斯クシテ一將校團ハ、精神的ニ鞏ク團結ヲシ、延イテ國軍全部が歩調ヲ一ニシテ大衆一致ノ發動ヲスルト云フ基が開カレルデアリマス。

3. 准士官下士教育ニ就イテ
准士官下士ハ、常ニ一般兵卒ト居ヲ同ジクシテ居リマスノデ、

其ノ一擧一動ハ直ニ兵卒ノ活キタ模範トナル譯デアリ、又
兵卒ノ性狀ニ通ズルト云フコトモ遺憾ナク出來ルノデアリマ
ス。ソコデ兵卒ヲ教導化育スルト云フ點ニ就イテハ、誠ニ
都合ノ好イ位置ニ居ルノデアリマス。デアリマスカラ、前ニモ申
シマシタ通り、准士官下士ハ中隊家庭ノ慈母ト云フ役目
ヲ有ツテ居ルノデアリマス。從ツテ、准士官下士ヲ教育シマ
スノニハ、第一、此ノ慈母トシテ立派ニ兵卒ヲ感化慈育シ
細カイ點迄面到ヲ見テヤルコトノ出來ルヤウナ性格徳操
ヲ養フコトヲ要義トスルノデアリマス。併シ又下士ハ、將校ヲ
補助シ、或時ハ之ニ代ルコトモアツテ指揮教育ノ任ヲ負ハ
ネバナリマセンカラ、之ニ必要ナ教育モ無論施スノデアリマスガ、

之ハ寧ろ從ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス。將校ダカラト
云ツテ勿論兵卒ノ躰ニハ注意スルノデアリマスガ、終始兵卒ノ
側ニ附イテ居ル譯ニ參リマセンカラ、自然准士官下士ニ特ニ
此ノ事ヲ重ク要求スルノデアリマス。之ハ恰度、主人ノ不在ヲ
引キ受ケテ終日家ヲ守ル家庭ノ母ガ、兒子ノ躰ノ上ニ
重キヲナスト同ジ理合デアリマス。諸外國デモ、下士ガ軍隊
デノ慈母ト云フ點ニ於テハ、我が邦ト少シモ異ナラナイノデア
リマスガ、我が邦デハ、此ノ慈母ノ役目が一層重ク、又一層骨
が折レルノデアリマス。ト云フノハ、前述ベシタ通り、社會一
般ノ生活狀態ト軍隊ノソレトノ間ニ著シイ懸ケ隔テガ
アルカラデアリマス。殊ニ入營シタ許リノ兵卒ハ、生活狀

態ノ劇變ノ爲ニ、自然ニ心性が刺激セラレ、鋭敏ニナツ
テ居リ、又町人ノ子が武士ノ家へ養子ニ入ツタト云フ様ナ
風デアリコスカラ、之ヲ仕立テルニハ中々骨が折レルノデアリマ
ス。何ト云ツテモ、新入兵ハ軍隊ノ赤子デアリ、差當リ准士
官下士ハ之が褌母ト云フ格デアリマスカラ、骨ノ折レルハ無理
モナイコトデ、又立派ナ褌母タル丈ノ性格ヲ養フト云フ此ノ准
士官下士教育モ一通リノコトデハナイノデアリマス。ソコデ我が
邦ノ軍隊デハ、此ノ教育ニ特ニ力ヲ注グノデアリマス。然ルニ
世間往々ニシテ、此ノ點ニ想ヲ致サズシテ、下士ノ地位ヲ見誤
リ、又ハ下士ノ職務ニ對シテ考ヘ違ヲスルヤウナコトガアリマス
が、之ハ大ニ戒メネバナラヌコトト思フノデアリマス。

々一年志願兵教育ニ就イテ

一年志願兵教育ノ目的ハ、未來ノ豫後備役將校ヲ作
リ上ゲヨウト云フノニアルハ申ス迄モナイコトデ、備テ此ノ豫後
備役將校ト云フモノハ、一朝事アル時ニハ多クノ兵卒ノ身
命ヲ預ツテ神聖ナ指揮權ヲ行使セネバナラズ、又平素ハ
在郷軍人ノ先達トナリ中樞トナラネバナラヌノデアリマスカラ、
學術ト云フコトモ無論戰時ノ指揮官タルニ必要ナ丈ハ
備ヘテ居ラナクテハナリマセンが、就中、最モ必要ナコトハ無形
上ノ方デ、堅確ナル思想トカ、高尚ナル品性トカ云フコトが何
ヨリ大切ナノデアリマス。ソコデ此ノ教育ハ、階級ノ進ムニツレテ、
順次下士タリ初級ノ將校タルニ必要ナ學術科ヲ注キ込

ト共ニ、特ニ品性ヲ磨キ大和魂ヲ叩キ込ムト云フコトニ偉
大ナカヲ用フルノデアリマス。學術サヘ出來レバソレデ此ノ教育
ノ目的ヲ達シタト云フノデハ決シテナイノデアリマス。從ツテ一
年志願兵ト爲ツテ入隊スル人々モ、亦此ノ心懸デ精神ノ
修養ト云フコトニ特ニ力ヲ注ガネバナラヌノデアリマス。

六週間現役兵教育ニ就イテ

六週間現役兵ハ、小學校ノ教職ニ在ル人々デ、日本帝國ノ
運命ヲ將來双肩ニ擔ハウト云フ第二國民ヲ訓導スル
榮譽アル位置ニ居リマスノデ、小國民ニ建國ノ大本國
家成立ノ要義ト云フ様ナコト、兵役ハ必任義務デアルト
云フコトヲ、椎イ頭ニ根柢カラ叩キ込ミ、尚國民皆兵

制ノ下ニ立ツ日本ノ臣民トシテ是非共必要ナ軍事思想
ヲ扶植スルト云フ、重大ナ役目ヲ有ツテ居ルノデアリマス。尚
又初メニ述ベマシタ國民教育中ノ義務教育ト、軍隊
教育トノ一致調和ヲ圖ルト云フ點ニ就イテハ、誠ニ申分ノ
ナイ適當ナ地位ニ居ルノデアリマス。從ツテ、已レ先ツ軍隊ノ
生活ヲ實踐シ、其ノ實狀ヲ正當ニ理解シマシテ、自ラ軍
事的修養ヲ深クセネバナラヌノデアリマス。ソコデ、其ノ在營
期ハ極メテ短カイノデアリマスガ、教フベキコト習フベキコトハ誠
ニ深長ナノデアリマス。又、其ノ教育ノ仕方ノ適否、被教
育者ノ研究心ノ厚薄、着眼ノ正否ト云フコトハ、將來
ノ國民教育ニ大ナル影響ヲ及ボスノデアリマス。デアリ

マスカラ、教育者モ精ヲ盡シテヤラネバナラズ、又被教育者モ適確鋭利ナル眼光ト旺盛ナル研究心トヲ以テ、眞摯着實ニ事ニ從ツテ、軍隊ノ眞狀ヲ正當ニ理解シ、收獲ノ少シデモ多カラントニ努力セネバ相成ラヌノデアリマス。若シモ教育者が宜シキヲ得ナイトカ、又ハ被教育者ノ心懸ケヤ努力が十分デナイト云フ様ナコトがアツタナラバ、倭ノ未來ノ軍隊繼承者國防擔當者ノ素養ニ少カラサル不利ノ影響音ヲ及ボスノデアリマス。然ルニ從來ノ例ヲ見マスト、動モスレバ此ノ大週間現役兵ノ觀察力が不足デアツタリ、又ハ正鵠ヲ失スルト云フ様ナコトがアリマシテ、却テ小國民ニ惡感惡影響音ヲ與ヘルト云フ様ナコトがアルノデアリマス。嘗テ

私が或聯隊ニ居ツタ時、大週間現役兵ノ入營當時師範學校長ヤ視學官等ノ人々ヲ招キシテ、其ノ立合ノ上デ在隊中ノ心得方ニ就イテ諄々注意ヲシ、説明ヲシ、尚之カ教官ノ教育上ニ就イテモ色々注意ヲ與ヘテ居リマシタガ、儲テ愈々満期除隊ト云フ時ニナツテ、又之ヲ一堂ニ集メ、人々ノ感想ヤラ觀察ノ結果ヤラヲ諮問シマシタ所が、驚クベシ十中ノ七八迄ハ觀察が誤ツテ居ツタリ、或ハ又皮想デアツタリ、乃至ハ正當デナイ感想ヲ抱イタリシテ居ツタメデアリマス。ソコデ之ハ大變デアル此ノ儘隊ヲ出テ誤ツタ頭デ小國民ヲ導カレテハ一大事デアルト思ヒマシタノデ、一々之ヲ匡正シテ、萬一ニモ遺漏ノナイコトニ努メタ様

ナ次第デアリマシタ。此ノ種ノ事ハ、決シテ一ツノ隊丈ニ限ツ
タコトデハナク、到ル所ニアリハスマイカト懸念ニ堪ヘヌンデア
リマス。之デハ六週間現役兵トシテ折角入隊シタノが何ノ
役ニモ立タナイノミカ、却テ茶毒ヲ流スト云フ様ナ恐ガア
ルンデアリマス。皆テソレナラバ、軍隊デハ此ノ教育ヲ如何ニ
スルカト申シマス、專ラ軍人ノ崇高ナ精神ヲ注入シ嚴
正ナ動作ヲ教習スルコトヲ主眼トシマシテ、諸般ノ教練ナ
リ演習ナリヲ實施シ、且ツ廣ク軍事諸般ノ事項ヲ觀察
サセ、軍隊ノ實況ヲ正當ニ理解スル様ニ指導スルンデアリ
マス。ソコデ、明治十五年ニ軍人ニ賜ハリマシタ 御勅諭ト
教育勅語トノ關係、軍旗ノ尊嚴軍備ト國家トノ

關係等ニ就キマシテハ、十分意ヲ用ヒテ講説ヲシ、深ク
腦裏ニ銘刻サセルコトニ努メ、有形上ノ諸演習ハ、本教育
ノ目的ニ鑑ミテ、要ヲ摘ミ適當ニ取捨ヲシ、尚又時日ノ
短イ關係カラ、實踐サセルコトノ出來ナイコトハ必要ニ應シ成
ルヘク見學モサセ、又他隊ヤ官衙學校等ヲカメテ參觀モサセ
ルンデアリマス。斯様デアリマスカラ、被教育者モ能ク此ノ精神
ヲ酌ンデ、初メニ申シマシタ六週間現役兵制ノ本義ニ戻ラ
ヌ様、渾身ノ力ヲ出シ、誠心誠意事ニ當ツテ、正當デ而
モ分量ノ多イ收穫ヲ得テ、之ヲ土産トシテ以前ノ教職ニ
復シ、其ノ土産ヲ小國民ニ分配ヲシ、以テ忠誠淳良デ
元氣旺盛體力强健ナ立派ナ第二國民ヲ作り上げ、將

來之ヲ軍隊ニ送り込ムト云フコトニナラネバナラヌノデアリマス。
ソコデ、此ノ精良ナ原料ヲ得タ軍隊ハ、更ニ之ヲ鍛鍊シ
テ茲ニ正宗ノ銘刀が出来上ルト云フコトニナルノデアリマス。
以上述ブル通りデアリマスカラ、元來カラ申シマス、義務
教育ノ衝ニ當ル人々ハ、悉ク之ヲ軍隊ニ入レルノガ理想デ
アリマスガ、之ハ經費其他ノ關係ガ許サナイコトデモアリ、俄
カニ之ヲ實現スルコトハ難イコトデアリマス。ソコデ六週間
現役兵トシテ入隊シタ人々ハ、言ハバ代表者ニ當リマスカラ、
入隊ノ出来ナイ他ノ人達ニ向ツテハ、自己ノ軍隊生活ニ
依ツテ收メ得タ收穫ヲ移植スルト云フ義務ヲ自然ニ
負ウテ居ル譯ナノデアリマス。デアリマスカラ、除隊後ニハ、小

學校ノ生徒ニ對シテ許リデナク、母校ニ行ツテハ已等ノ後
進者ニ之ヲ移シ、又一般郷黨ニ對シテモ、機會ヲ設ケテ
普及ヲ圖ルト云フコトガ是非要ナノデアリマシテ、師範學
校長トカ町村長トカ云フ様ナ周圍ノ人々モ、亦斯クサセル
様ニ仕向ケネバナラヌコトト信ズルノデアリマス。

6. 補充兵教育ニ就イテ

最近日露ノ役デモ實驗シマシタ通り、戰時ニハ隨分澤山
ナ軍隊ヲ動カシ、又武器ノ進歩ニ伴ヒマシテ損害ハ多
クナル一方デアリマスカラ、一戰爭スル爲ニハ、莫大ナ人間ヲ
要スルノデアリマス。所ガ、斯ク多數ノ人間ヲ平時皆一通
リ現役ニ服サセルト云フコトハ、^濟經劑上迎モ出来ナイコトデ

アリマスカラ、現役兵トシテ八年々一定ノ人員丈ヲ取り、ソレ
デ足ラナイ所ハ補充兵デ補フト云フコトニ自然ナルノデアリ
マス。此ノ補充兵ヲ、必要ニ應ジ若干宛軍隊ニ入レテ教育
ヲ施スノガ、即チ茲ニ申ス補充兵教育ナノデアリマス。此
ノ教育ノ時日ハ僅カニ三ヶ月シカアリマセンノデ、現役兵ト
同様ニ總テノコトヲ何モ彼モ教ヘ込ムト云フコトハ固ヨリ
出来ナイコトデアリマス。如何ニ教育者が精限リヤツタ
所デ、現役ニ服シタ者ト戦時^地デ同ジ働キ振リヲスルト
云フコトハ望マレナイノデアリマス。現ニ白露戦争ノ實驗
ニ徴シマシテモ、鴨綠江南山時代ノ師團ト、奉天戦時代
ノ師團トハ、同ジ師團デ頭數ハ同様デモ、後者ノ戦

闘力ハ前者ノソレニ較ベテ半介シカナカツタノデアリマス。ソレハ、
後ノ師團ハ戦死者ヤ負傷者ノ補充ヲ、急拵ヘノ補充
兵デ行ツタカラデ、誠ニ已ムヲ得ナイコトデアリマス。ソコデ一
般ノ人々ニ注意ヲシテ戴キタイト云フノハ、何トカシテ、此ノ急
拵ヘノ兵卒ノ補充ニ依ツテ生スル戦闘力ノ減耗ヲ出来ル丈
小サクレタイト云フコト、言葉ヲ換ヘテ申シマス、現役兵ト
補充兵トノ戦闘力ノ差違ヲ小極限ニ止メ度イト云フコト
デアリマス。此ノ希望ハ、已ニ前ニ述ベマシタ一般國民ノ各種
教育ト、軍隊教育トノ調和連繫ヲ、今ヨリモ一層緊
密ニスルト云フコトニ依ツテ或程度迄ハ達セラレルト思ハレ
ルノデアリマス。何故ナラバ、平生カラ、國民一般ニ軍事思

想が十分普及シテ居リ、又一般國民ノ精神が軍隊ト同
様ニ練レテ居リ、尚又射撃ダトカ馬術ダトカ劍術ダト
カ云フ様ナ武技モ國民ノ間ニ體育ノ手段高尚ナル娛
樂トシテ行ハレテ居リマシタラバ、縱令三四ヶ月ノ急務
ヘノ兵卒デモ、從來ノ六ヶ月モソレ以上モ教育シタ者ト同
様ナ力が出セル道理デアリマス。ソコデ、家庭教育
ヤ義務教育等ハ勿論ノコト、尚社會ニ於ケル實務教
育ノ際ニ於キマシテ、以上ノコトニ十分注意シ、尚武心ノ涵
養、軍事思想ノ普及、民紀ノ嚴守、道義心ノ陶冶
ト云フ様ナコトニ大ニ力ヲ用ヒルコトが肝要デアリマシテ、此ノ
點ハ家庭ノ父兄、學職ニアル人々、及ビ社會ノ先達者、各

種團隊等ノ大ナル發奮努力ヲ御願シタイノデアリマス。
之ハ決シテ個人ノ希望デハナク、國家ノ隆興、國民ノ福祉
ノ上カラ見テ絶對ニ必要ナノデアリマス。尚又體力ノ上ニ於
キマシテモ同様デアリマシテ、軍部以外ノ教育デ、一層體
育ニ重キヲ置キ、立派ナ體格ノ青年ヲ作り上ゲル様ニ
ナリマシタラバ、國軍ノ戰鬥力ハ益々増加サル譯デ、此
ノ點ニ就キマシテハ、軍部當局ト文部ノ當局ト互ニ交
涉シマシテ、諸外國特ニ瑞典^典邊リノ體操教育上ニ於ケル特
長ヲ採リ、五體ノ鍛鍊ト共ニ内臟ノ發達ヲ促ス様、又年
齡ニ應ジテ適當ナ運動ヲ規正スル様改善ヲ圖リツツ
アリマス様ナ次第デアリマスガ、一般國民ノ間デモ、此ノ體

育ト云フコトニハ是非共大ナル注意ヲ拂フテ戴キタイノデ
アリマス。斯クシテ普通ノ諸教育ガ能ク軍隊教育ニ
適合スル様ニナリマシタナラ、
實ニ於テ立派ナ軍備擴張ダト云ツテ良イト思フノデア
リマス。即チ、社會ノ具眼者ノ注意次第努力次第デ、
經費ノ入ラナイ立派ナ軍備擴張ガ出來上ルノデアリマス。
ク、勤務演習教育ニ就イテ

勤務演習教育ト申シマスノハ、時ヲ定メ人員ヲ限ツテ、在
郷軍人ヲ軍隊ニ召集シ、復習其ノ他必要ノ教育ヲ
スルコトデアリマス。本來、軍事ノ立場ノミカラ申シマス、軍
人ハ全服役間兵營ニ置イテ斷エス教育ヲ及西復スレ

バ一番良イノデアリマスガ、ソナコトハ、國費其他ノ關係
上迎モ出來ナイコトデアリ、又ソレ程ノ必要モナイト云フノデ、
一定ノ年限丈在營サセ、此ノ間ニ前申シタ完備教育ヲ施
シ、其ノ教育ノ結果ヲ永ク保持サセヨウトカメルノデアリマス。
併シ乍ラ、人ノ力ニハ自ラ限リガアリマスノデ、此ノ二年三年ノ
完備教育丈デ、後ハ何モセズニ打テ棄テテ置イテ、ソレデ
マサカノ時ニ必ズ立派ニ働ケルト云ツテ安心ハ出來ナイノデ
アリマス。年月ノ經過ト共ニ、一度習ツタコトヲ漸ク忘レ、又
一旦練磨サレタ心身モ自然ト崩レルト云フコトハ、神ナラヌ
以上到底已ムヲ得ナイコトデアリマスデアリマスカラ、之ヲ時々
召集シテ教育ヲシ、復習ヲサセ益々、軍人精神ヲ磨カ

ネハナラヌノデアリマス。況シテ戰時軍隊ノ大部分ハ此ノ在郷軍人カラ成リ立ツノデアリマシテ、其ノ精粗強弱が軍ノ戰鬪力ニ最モ重大ナ關係ヲ有ツニ於テハ、尚更ノコトデアリマス。ソコデ、此ノ勤務演習教育ト云フコトハ、餘程大切ナモノデ、新軍隊教育令デハ、特ニ之ニ重キヲ置カシテ居ルノデアリマス。軍隊デハ、戰時ノ準備トシテ、被服類ヤ兵器等ノ戰用品ヲ倉庫ニ格納シテアリマスが、之トテモ、倉庫ニ入レタ儘デ五年モ十年モ手入ヲシナカツタラバ、愈ト云フ時ニ被服ハ蟲ニ喰ハレ銃器ハ錆ビテ何ノ用ヲモナサナイノデアリマス。之ト同ジコトデ、在郷軍人ハ戰時ノ準備トシテ郷里ト云フ一ツノ戰用倉庫ニ格納シテア

ルノデアリマスカラ、時々之ヲ倉庫カラ出シテ手入ヲスルニ外ナラナイノデアリマス。所デ此ノ被服ヤ武器ノ格納庫デモ、構造が良イトサウ度々手入ヲシナイデモ濟ミ、又手入モ簡單デ事が足り、内容品ノ保存期限モ自然延ビルノデアリマス。然ルニ若シ、其ノ構造が悪カツタラバ、五年保ツモノナラ三年シカ保タズ、又手入モ屢々行ハネバナラヌノデアリマス。之ト同ジ道理デ、在郷軍人ノ格納庫タル杜會ノ思潮ヤ俗習が善良デアリ、又一般ニ良ク軍事思想が行キ巨ツテ居リマシタラバ、之が手入タル勤務演習ハ、縱令僅カナ自子デモ十分目的ヲ達スルコトが出来、又其ノ回數等モ自然ト減ゼラレ、而モ一旦緩急アルノ秋

ニ立派ニ役ニ立ツト云フコトニナラウト思フノデアリマス。ソ
コデ我々ハ、切ニ一般社會が在郷軍人ノ爲極立派ニ戰用
倉庫タラントヲ希望シテ止マナイノデアリマス。之が爲ニ
ハ前ニモ一寸述べマシタ通り、社會郷黨ノ間ニ、學校教
育以外ノ教育が是非必要ナノデアリマス。即チ在郷軍
人團トカ青年團トカ云フ様ナ團隊、又ハ有志ノ人、地方
ノ先輩ト云フ様ナ人が主宰トナツテ、恰モ軍部デ簡閱
點呼ヲ行フ様ニ、地方ノ青年ヲ會合シテ社會公德
上ノ講話會ヲ開クトカ、修身養氣ノ研究ヲお互ノ
間デサセルトカ、或ハ又郷黨ノ間ニ道義上ノ相等ナ制
裁法ヲ設ケテ、トモスレバ弛マウトスル社會ノ綱紀ヲ振肅

スルトカ、乃至ハ又體育養氣ノ目的デ種々ノ武技等ヲ
演練スルトカ云フ様ナコトが是非必要ナノデアリマス。此等
ノコトハ、獨リ軍事ノ方面ニ有益ナ許リデナク、一般社會ニ
對シテモ決シテ無益ノ業デハナイノデアリマス。即チ、斯クシ
テ一般ノ社會が在郷軍人ノ爲ニ立派ナ格納庫デア
ル様ニナレバ、軍事上ノ要求が満たサレル許リデハナク、社
會其者ノ眞價が益々揚リ、延イテハ國家が健全ナル
發達ヲスルト云フコトニナルノデアラウト確信スルノデア
リマス。

